

薬剤部だより No.142

山口大学病院薬剤部

2001.11.16

TDM(入院・外来)が推奨されています

適正な薬物療法を行うために、薬物血中濃度の測定を行っています。測定可能な薬物、検体の採取方法は医薬品集(第13版)の医薬品の取扱い「薬物の体液中濃度測定」(P70、71)に記載しています。詳細につきましては研究室TEL2671まで。

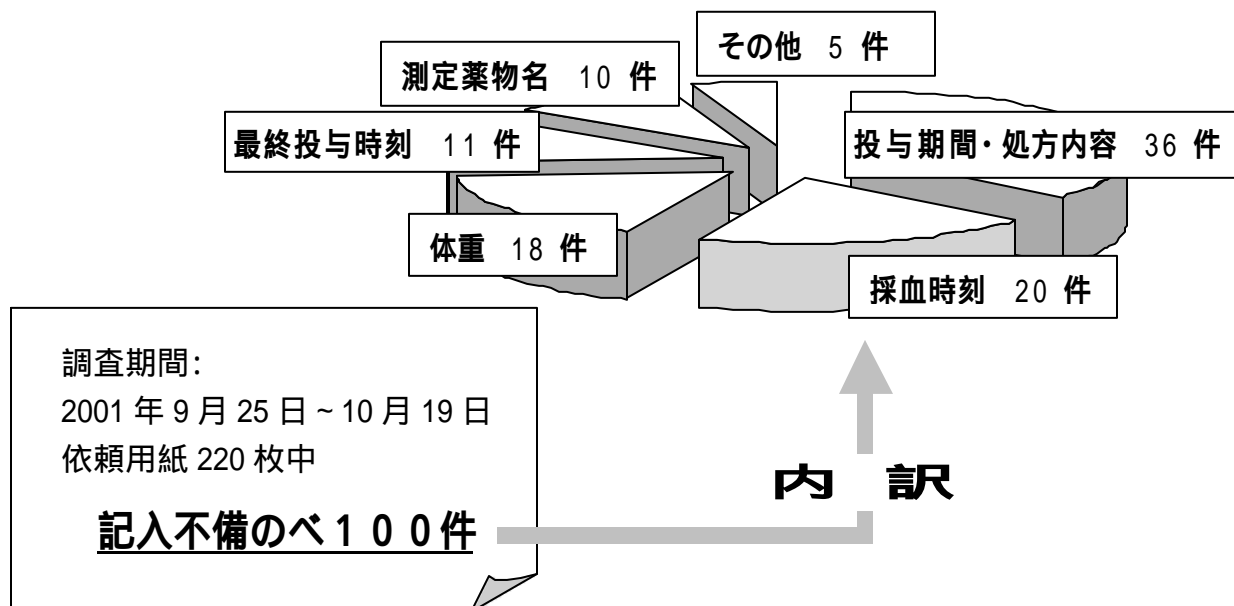
なお、以下の薬剤は特定薬剤治療管理料(月1回)の対象となっています。

ジギタリス製剤、テオフィリン、不整脈用剤、抗てんかん剤、ハロペリドール製剤、リチウム製剤、アミノ配糖体抗生物質、グリコペプチド系抗生物質、免疫抑制剤等

薬物体液中濃度測定依頼用紙へ漏れなく記入を！！

薬物体液中濃度測定依頼用紙には、患者さんの基本情報やこれまでの薬物投与履歴などを把握するための記入項目が用意されており、これらの情報をもとに、薬剤部では測定結果を適正な薬物療法に役立てるための薬物動態解析を行っています。

しかし、以前よりこれらの項目の記入不備事例が後を絶たず(下図参照)確認作業に多大な時間を労するなど業務に支障を来しています。依頼用紙への記入漏れのなきようお願いいたします。詳細につきましては研究室TEL2671まで。



長期投与（30日分）が可能となります

平成13年12月1日から、ゼフィックス錠100、ディオバン錠80mg パキシル錠10mg 20mg（パニック障害は不可）の薬剤が30日投与可能となります。

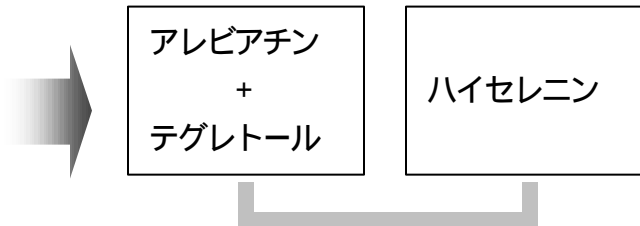
医療監視が終了しました

10月24日、厚生労働省及び宇部市健康福祉センターによる病院立入検査（病院医療監視）が実施され、無事終了いたしました。

ハイセレニン細粒は単剤で分包します

抗てんかん薬ハイセレニン細粒につきましては、他剤との配合変化が多い（単剤でも吸湿性大）ことから、単剤で分包していますのでご了承下さい。

Rp) アレビアチン細粒 0.22g
テグレート細粒 500mg/g 400mg
ハイセレニン細粒 400mg/g 600mg
1日2回 朝夕食後 28日分



別包になります！！

ハイセレニン細粒との物理化学的变化例

1～2週間内に変化	3～4週間で変化
ビタミンC、B ₆ 及び総合ビタミン剤	タンニン酸アルブミン
ロートエキス散	コントミン散
SM散	酸化マグネシウム
ベンザリン細粒	テグレート細粒
	リボトリール細粒

年末年始用の処置薬は早めに請求を

年末年始に使用予定の処置薬の請求は12月14日（金）までです。なお、来年の初回払出しは1月10日（木）となりますので、忘れないように請求して下さい。

その他、年末年始の薬の取扱いについては次号に掲載する予定です。

年末年始の投薬計画はお早めに！！